

令和2年三重県議会定例会 予算決算常任委員会 教育警察分科会

I 議案補充説明

<予算関係>

議案第2号	「令和2年度三重県一般会計予算」【教育委員会関係】	1
議案第72号	「令和元年度三重県一般会計補正予算（第9号）」 【教育委員会関係】	24

<条例関係>

議案第31号	「三重県手数料条例の一部を改正する条例案」【教育委員会関係】	27
議案第52号	「三重県立高等学校条例の一部を改正する条例案」	28

II 所管事項説明

1	「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく 報告について	29
---	--	----

令和2年3月12日

教育委員会

I 議案補充説明
議案第2号

令和2年度三重県一般会計予算【教育委員会関係】

歳 出

(単位:千円)

款	項	令和元年度 6月補正後予算 (下段:平成30年度 第3号補正含む)	令和2年度 当初予算 (下段:令和元年度 第8号補正含む)	増減額 B-A	増減率 (B-A)/A
		A	B		
教育費	教育総務費	23,922,937	22,913,723	▲ 1,009,214	▲ 4.2%
	小学校費	54,862,926	54,440,157	▲ 422,769	▲ 0.8%
	中学校費	30,437,551	29,823,760	▲ 613,791	▲ 2.0%
	高等学校費	35,190,569	34,560,423 (35,837,202)	▲ 630,146 (646,633)	▲ 1.8% (1.8%)
	特別支援 学校費	12,140,194	12,365,932	225,738	1.9%
	社会教育費	577,781 (587,281)	810,868	233,087 (223,587)	40.3% (38.1%)
	保健体育費	504,771	525,119	20,348	4.0%
合 計		157,636,729 (157,646,229)	155,439,982 (156,716,761)	▲ 2,196,747 (▲929,468)	▲ 1.4% (▲0.6%)

※平成30年度第3号補正予算

- ・国の補正予算に対応し、「鈴鹿青少年センター費」に9,500千円を計上
- ・令和元年度当初予算と一体的に予算を編成し、実施するもの

※令和元年度第8号補正予算

- ・国の補正予算に対応し、「情報教育充実支援事業費」に1,276,779千円を計上
- ・令和2年度当初予算と一体的に予算を編成し、実施するもの

教育委員会

令和2年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

教育を取り巻く社会情勢は、人口減少や少子・高齢化、経済や社会のグローバル化、急速な技術革新に伴う超スマート社会 (Society5.0) 等が進む中で大きく変化しており、子どもを取り巻く状況はますます複雑化・多様化しています。社会の変化や課題に的確に対応し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現していくためには、これまで培ってきた三重の教育を大切にしながら、新たな課題に対して果敢に取り組んでいくことが求められています。

令和元年度に策定予定の「三重県教育ビジョン (仮称)」に基づき、「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の一体的で調和の取れた育成を基礎としながら、学校におけるICT環境の整備などに取り組み、社会の大きな変化に対して新たな価値を創造できる資質・能力を育成します。

また、切れ目のない支援体制を充実するなど、特別な支援が必要な子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びを推進します。さらに、社会総がかりでいじめの防止等に取り組むとともに、不登校の状況にある子どもたちへの支援やインターネットトラブルの防止に取り組み、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを進めます。

あわせて、教職員の負担軽減を図り、限られた時間の中で子どもたちと向き合う時間を確保し、より効果的な教育活動を持続的に行うため、学校における働き方改革を進めます。

教育委員会では、このような認識のもと、次の5項目について重点的に取り組みます。

(1) 「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の育成

子どもたちの知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育むため、一人ひとりの学習内容の理解と定着を図る取組を推進します。また、「豊かな心」を育むため、道徳教育の推進体制の充実を図り、子どもたちの道徳性を養うとともに、子どもたちが読書経験や本の楽しさを伝え合う取組等をとおして、読書習慣の定着を図ります。さらに、「健やかな身体」を育むため、遊びやスポーツの機会の拡充をとおして、運動に親しむ習慣の定着と体力の向上に取り組めます。あわせて、外国人児童生徒が社会的に自立する力を身につけられるよう、日本語指導や進路選択等の支援を行います。

(2) 未来を創造する力の育成

変化が激しく予測困難な社会にあっても、子どもたちが社会の一員として自覚と責任を持ち、主体的に行動できる力を育みます。英語教育や郷土教育を推進し、世界や地域で活躍できるグローバル人材の育成や、地域や企業と連携したキャリア教育を推進するとともに、ICT環境の整備などに取り組み、超スマート社会 (Society5.0) に対応できる力を育みます。

(3) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの学びを支えるため、「パーソナルファイル」を活用した支援情報の確実な引き継ぎを進めます。また、子どもたちが地域で豊かに自分らしい生活ができるよう、発達段階に応じた組織的なキャリア教育を進めるとともに、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流活動を進めます。

(4) 安全で安心な学びの場づくり

「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめがなくなることをめざして社会総がかりで取り組むとともに、学校や家庭、地域、関係機関が連携して、不登校の状況にある子どもたちへの支援や通学路等の安全確保、インターネットトラブルの防止に取り組みます。また、トイレの洋式化など設備面での機能向上も含めた県立学校における施設の計画的な老朽化対策に取り組むとともに、災害時の学校を支援する体制の整備や防災教育を進め、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを進めます。

(5) 地域との協働と信頼される学校づくり

学校・家庭・地域が一体となった教育活動を進めるため、コミュニティ・スクールの仕組みを導入する市町や学校の拡充に取り組むとともに、県立高校の特色化・魅力化を進めます。また、教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施するとともに、働き方改革を推進し効果的な教育活動ができるよう、専門スタッフや外部人材等の配置を進めます。

さらに、地域の中で子どもたちを健やかに育む環境づくりを進めるとともに、文化財を将来にわたって守り伝えるための取組を推進します。

2 主な重点項目

(1) 「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の育成

① (一部新) 学力向上推進事業

予算額 31,377 千円

[学力向上推進プロジェクトチーム (224-2931)]

みえスタディ・チェックを実施し、自校採点集計WEBシステムで、設問ごとの集計結果や課題等の分析および子どもたちの学習内容の定着状況等を各学校に提供するとともに、当該学年で身につけておくべき基礎からの標準的な問題で構成したワークシート集を、学校、市町教育委員会に提供します。また、子ども一人ひとりに対してきめ細かな指導を行うため、実践推進校を指定し、学力向上アドバイザーの指導・助言を得ながら、習熟の違いに応じた指導の工夫等に係る研究を進め、その取組の成果について、研修会等を通じて県内小中学校へ普及します。

② 少人数教育推進事業

予算額 1,349,046 千円

[教職員課(224-2958)]

国の定数を活用し、本県独自の取組である小学校1、2年生での30人学級(下限25人)および中学校1年生での35人学級(下限25人、実情に応じて2年生あるいは3年生に弾力的に振替可)を実施するとともに、小学校2年生の36人以上学級の解消を図ります。

また、県単定数および非常勤の配置により、少人数指導に取り組む学校においては、「効果的な少人数指導推進ガイドブック」を活用して、教員の役割分担によるティーム・ティーチングや、小学校算数と中学校数学の少人数指導に取り組む学年の70%で引き続き習熟度別指導に取り組めます。

③ 道徳教育総合支援事業

予算額 9,598 千円

[小中学校教育課(224-2963)]

道徳教育の充実を図るため、学校等へ道徳教育アドバイザーを派遣し、「考え、議論する道徳」の授業の効果的な指導方法等に係る具体的な指導・助言を行います。また、三重県道徳教育推進会議や公開授業をとおして、道徳の教科化をふまえた道徳教育の効果的な指導方法などを普及します。

④ 子どもと本をつなぐ環境整備促進事業

予算額 758千円

[社会教育・文化財保護課(224-3322)]

子どもたちの読書への関心が高まるよう、「第四次三重県子ども読書活動推進計画(仮称)」に基づき、読書機会の充実など、家庭や地域、学校等を通じた地域社会全体で読書活動の推進に取り組めます。また、子どもたちが日常的に自ら進んで読書に親しむきっかけをつくるため、ビブリオバトルを開催します。

⑤ みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業

予算額 5,928 千円

[保健体育課(224-2973)]

就学前から高等学校まで、子どもの発達段階に応じた運動習慣や生活習慣等の改善を図ります。また、各小中学校で作成した元気アップシートの取組を確実に実行するため、市町教育委員会と連携し、教員対象の研修会や指導主事の学校訪問により、指導・助言を行います。さらに、オリンピック・パラリンピックに向けて、子どもたちの大会への興味・関心を高めていくため、県内の学校でオリンピック・パラリンピアンによる講演や模範演技などを行います。

⑥ みえ子どもの元気アップ部活動充実事業 予算額 26,953千円
[保健体育課(224-2973)]

部活動の指導体制を充実して、教員の負担軽減を図るため、中学校・高等学校に、顧問として単独で専門的な指導や引率を行える運動部活動指導員の配置を進めるとともに、新たに中学校に文化部活動指導員を配置します。また、技術指導のみを行う外部指導者(サポーター)を中学校・高等学校の運動部に派遣します。さらに、運動部活動の研修会などを行い、「三重県部活動ガイドライン」の浸透や指導者の指導力向上を図るとともに、環境整備の必要な運動部がある県立高等学校に備品等を整備します。

⑦ 運動部活動支援事業 予算額 153,808千円
[保健体育課(224-2973)]

中学校、高等学校の県体育大会や東海大会の開催経費の負担および全国大会等の参加に係る旅費等の経費を負担します。また、全国中学校体育大会および全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技の開催準備を進めます。

⑧ (一部新) 多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業
予算額 29,634千円 [小中学校教育課(224-2963)]

市町における外国人児童生徒の受入れや日本語指導・適応指導に係る取組への支援を行うとともに、小中学校に、学習支援を行う外国人児童生徒巡回相談員や翻訳等を行う外国人児童生徒巡回支援員を派遣します。また、外国人児童生徒の就学促進および教育を受ける機会の確保のため、就学等に必要情報を提供するとともに、夜間中学等に関する調査研究を進めます。

⑨ 社会的自立をめざす外国人生徒支援事業 予算額 11,117千円
[高校教育課(224-3002)]

外国人生徒が地域で社会的自立を果たし、社会の一員として活躍できるよう、課外授業等による適応指導や進路相談、日本語習得の支援等を行う外国人生徒支援専門員(ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語等)を県立高校の拠点校に配置します。

⑩ 外国人生徒キャリアサポート事業 予算額 4,824千円
(未来へつなぐキャリア教育推進事業の一部) [高校教育課(224-3002)]

外国人生徒および保護者が日本の学校制度や働き方について理解を深め、将来の生活を見通して進路を選択できるよう、就職アドバイザーを県立高校に配置するとともに、進学・就職に関する助言やセミナー等の支援を行います。

⑪ 特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業 予算額 2,679千円
(早期からの一貫した教育支援体制整備事業の一部) [特別支援教育課(224-2961)]

特別支援学校に在籍する外国人児童生徒および保護者を支援するため、翻訳・通訳を行う外国人児童生徒支援員を配置します。

- ⑫ SNSを活用した相談事業（外国人生徒対応分） 予算額 3,858千円
（教育相談事業の一部） [研修企画・支援課（226-3516）]
外国人生徒が母国語で相談できるSNS相談を実施し、その対応について検証を行います。

- ⑬（一部新）就学前教育の質向上事業 予算額 4,258千円
[小中学校教育課（224-2963）]
幼稚園・認定こども園・保育所において、幼児教育の質の向上と保幼小の円滑な接続を一体的に推進する体制を構築するため、教育委員会に幼児教育センターを設置し、専門的な知識を有する幼児教育スーパーバイザーを配置するとともに、幼児教育アドバイザーを市町へ派遣し、研修支援等を行います。

(2) 未来を創造する力の育成

- ① 地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業 予算額 24,222千円
[教育政策課（224-2951）]
実践パイロット校を指定し、生徒が地域課題や地域の特色ある産業を題材に地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことで、地域の魅力と課題を知り、解決策を考え実践する人材を育成します。また、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置します。これら実践パイロット校での取組をふまえ、学識経験者や地域関係者等で構成する推進委員会を設置し、他者と協働する力や自己と社会の関わりを考える力など、これからの社会の変化に対応するために必要な力を育成する「地域課題解決型キャリア教育」のモデルを構築します。

- ② 未来へつなぐキャリア教育推進事業（一部再掲） 予算額 22,091千円
[高校教育課（224-3002）]
課題解決型のインターンシップや地域の職業人による出前講座などをおして、社会的・職業的自立に必要な資質能力を育成するとともに、就職アドバイザーを高等学校に配置して就職支援および職場定着支援を行います。また、外国人生徒および保護者が日本の学校制度や働き方について理解を深め、将来の生活を見通して進路を選択できるよう、就職アドバイザーを県立高校に配置するとともに、進学・就職に関する助言やセミナー等の支援を行います。さらに、高校生が将来の家庭生活や家族の大切さについて認識を深められるよう、ライフデザインや結婚、子育てをテーマとした講演会等を実施します。

③ 「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業 予算額 27,221千円
[高校教育課(224-3002)]

変化の激しい産業界で活躍できる人材を育成するため、全国規模の競技会への参加や看護・介護の実習を支援するとともに、平成31年4月に設置した伊賀白鳳高等学校建築デザイン科における学習環境の整備を進めます。また、農業学科の生徒が、GAP（農業生産工程管理）を生かした流通や販売に関する学習の充実を図ります。

④ 専攻科整備事業 予算額 40,079千円
[高校教育課(224-3002)]

四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科の学習に必要な実習設備等を整備します。

⑤ (新) 学びのSTEAM化推進事業 予算額 4,410千円
<事業実施期間：令和2年度～令和4年度> [高校教育課(224-3002)]

Society5.0の時代を生き抜く人材を育成するため、EdTech（Education+Technology）を活用した個別最適型の学びを推進するとともに、Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematicsを活用した文理融合の課題解決型教育をとおして、探究力、論理的思考力を育成する「学びのSTEAM化」の実証研究を行います。また、その成果を発表するとともに、県内の高等学校に広く周知を図るため、「三重STEAM教育フォーラム（仮称）」を開催します。

⑥ (一部新) 情報教育充実支援事業 予算額 992,194千円 [高校教育課(224-3002)]
(2,268,973千円 ※R元年度2月補正含みベース)

EdTech を活用できる基盤として、県立学校に無線LAN環境と電子黒板等の大型提示装置、学習用パソコンを整備し、子どもたちが他者と協働して課題を解決する力等を育むプロジェクト型学習や、生徒一人ひとりの関心・理解度に応じた教科学習（個別最適化学習）等を推進します。

⑦ 世界へはばたく高校生育成支援事業 予算額 18,601千円
[高校教育課(224-3002)]

高校生の長期・短期留学の促進および海外研修旅行の実施をとおして、グローバルな視野を育み、主体性や積極性の向上を図るとともに、高校生を対象にした「レベル別英語ディベートセミナー」を開催し、英語での発信力や論理的思考力の向上を図ります。また、高校生の科学に対する興味・関心を高める三重県高等学校科学オリンピック大会を開催します。

- ⑧ (一部新) 英語教育推進事業 予算額 2,391千円
[小中学校教育課(224-2963)]

小学校においてモデル校を指定し、市町と連携して効果的な指導方法等に係る実践研究を行い、その成果を普及します。中学校においてモデル地域を指定し、多様な音声や教材が利用できる英語教材作成支援システムを導入し、授業改善に取り組みます。また、中学生が三重の魅力英語で一枚紙にまとめて発信する「ワン・ペーパー・コンテスト」を実施し、ふるさと三重を英語で発信できる力を育てます。

- ⑨ (一部新) 課題解決型学習(PBL)を通じた新しい郷土教育推進事業
予算額 397千円 [小中学校教育課(224-2963)]

郷土について誇りと愛着を感じ、将来地域で活躍する意欲と態度を身につけることができるよう、中学生が学校や地域の課題について解決策を考え、提案する課題解決型学習(PBL)の手法を取り入れた取組を支援するとともに、その成果を発表する実践発表会を実施します。

- ⑩ 実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究事業
(高等学校学力向上推進事業の一部) 予算額 1,000千円
[高校教育課(224-3002)]

主権者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする意欲や態度を育むため、実践研究校を指定し、外部機関の協力を得て、効果的な学習プログラムを開発します。

(3) 特別支援教育の推進

- ① 早期からの一貫した教育支援体制整備事業 (一部再掲) 予算額 23,573千円
[特別支援教育課(224-2961)]

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、自立と社会参画を図るため、「パーソナルファイル」の活用促進や高等学校への発達障がい支援員の配置、通級による指導担当教員等の発達障がいに係る専門性の向上や指導者育成を図る研修を行うとともに、疾病により長期入院中の高校生に対する学習保障の仕組みについて研究を行います。また、特別支援学校に在籍する外国人児童生徒および保護者を支援するため、翻訳・通訳を行う外国人児童生徒支援員を配置します。

- ② 特別支援学校メディカル・サポート事業 予算額 5,690千円
[特別支援教育課(224-2961)]

医療的ケアの必要な子どもが身体的に安定した状態で教育活動に参加できるよう、常勤講師(看護師免許有)および教員が連携して医療的ケアを実施するとともに、研修会の実施による専門性の向上や、指導医等の指導・助言を得ながら校内のサポート体制の構築等に取り組みます。

- ③ (新) 特別支援学校学習環境等基盤整備事業 予算額 29,115千円
＜事業実施期間：令和2年度＞ [特別支援教育課(224-2961)]
一人ひとりの障がいの特性や状況に応じた学習活動を充実させるため、学習用パソコン等の端末の整備を進めます。

- ④ 特別支援教育に係る教職員研修（教職員研修事業の一部） 予算額 180千円
[研修推進課(226-3572)]
経験年数や職種に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修を実施します。また、特別支援学級等を新たに担当する教員を対象に障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修を実施します。

- ⑤ 特別支援学校就労推進事業 予算額 6,607千円
[特別支援教育課(224-2961)]
特別支援学校におけるキャリア教育を推進するため、特別支援学校版キャリア教育プログラムの活用や外部人材による職場開拓を進めるとともに、企業、関係機関等と連携した職場実習等を実施することで、高等部生徒の進路希望の実現を図ります。

(4) 安全で安心な学びの場づくり

- ① いじめ対策推進事業 予算額 5,910千円
[生徒指導課(224-2332)]
教育相談等で把握したいじめ相談のうち、早期に対応が必要な内容に対して、臨床心理士や社会福祉士等が関係機関と連携して継続した支援を行うとともに、いじめなどの理由によって登校が難しい子どもたちへの支援に取り組みます。また、子どもたちがいじめを許さない意識や態度を身につけられるよう、弁護士によるいじめ予防授業を実施します。さらに、地域全体でいじめ防止等を考える「いじめ防止サミット」を県内6地区で開催することにより、児童生徒がいじめ防止に主体的に取り組む実践力を育みます。

- ② スクールカウンセラー等活用事業 予算額 279,103千円
[生徒指導課(224-2332)]
スクールカウンセラー（S.C）を、全中学校区に配置するとともに、校区内の小中学校には同じS.Cを配置し、小中学校間で途切れのない支援を行うことができるよう取り組みます。また、スクールソーシャルワーカー（SSW）を、各学校等からの要請に応じて派遣するとともに、その一部を県立高校の拠点校に配置し、近隣中学校区への巡回を行います。

- ③ SNSを活用した相談事業（いじめ等対応分） 予算額 7,941千円
（教育相談事業の一部） [研修企画・支援課（226-3516）]
いじめ等の早期発見、早期対応を図るための相談窓口として、引き続き「子どもSNS相談みえ」を実施します。

- ④ （一部新）不登校対策事業 予算額 7,239千円
[生徒指導課（224-2332）]

不登校児童生徒の実態を調査し、有識者の助言を得ながら、一人ひとりの状況に応じた学習支援等の支援方法に係る研究を行います。また、不登校支援アドバイザーを委嘱し、各教育支援センターの指導員に指導・助言を行うとともに、どの相談機関等ともつながりが持っていない不登校児童生徒に対して、臨床心理士や精神保健福祉士等の専門家による訪問（アウトリーチ）型の支援に取り組みます。さらに、フリースクール等の民間施設と連携し、一人ひとりに応じた多様な学びを支援します。あわせて、全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けられるよう、推進中学校区を指定して、小中学校の連携による「魅力ある学校づくり」の研究を進め、その成果を広く県内に普及します。

- ⑤ （新）子どもたちのインターネットトラブル防止事業 予算額 10,000千円
<事業実施期間:令和2年度> ※県民参加型予算事業 [生徒指導課（224-2332）]

大学生や高校生がインターネットに関して経験したことを基に、ネットトラブルやネット依存等に関する意見交換を行い、小・中・高校生および保護者にインターネットの適正利用について発信するとともに、県内大学生による「インターネットの適正利用促進講座」を開催します。また、学校や教職員が気づけないネット上のトラブルやいじめを把握するため、SNSにおけるトラブル等に係る情報を投稿できるアプリを作成します。

- ⑥ （一部新）学校安全推進事業 予算額 3,035千円
[生徒指導課（224-2332）]

学校や通学路等の安全確保を図るため、家庭や関係機関と連携し、スクールガード・リーダーを地域の核とした学校安全体制づくりを推進するとともに、子どもたちの交通事故や不審者被害等を防止するため、通学路安全対策アドバイザーおよび事故防止アドバイザーを委嘱し、通学路等の安全対策を進めます。また、子どもたちの危険予測・危険回避能力を育成するため、教員を対象とした防犯教室講習会および交通安全教室講習会を開催し、指導力の向上に取り組みます。

- ⑦ 学校防災推進事業 予算額 13,332千円
[教育総務課（224-3301）]

防災ノートを新入生等に配付するとともに、体験型防災学習等の支援、学校防災リーダー等教職員を対象とした防災研修、中高生による東日本大震災の被災地でのボランティア活動や交流学習を実施します。

⑧ (一部新) 災害時学校支援事業 予算額 2,264千円
[教育総務課 (224-3301)]

災害時における学校教育の早期復旧を図るため、学校の早期再開、児童生徒の心のケア等、災害時の学校運営に関する専門的な知識や実践的な対応能力を備える教職員を育成し、学校を支援する体制を整備します。

また、民間団体・企業等との連携による災害時の子ども支援の仕組みづくりを進め、市町との連携につなげていきます。

⑨ 校舎その他建築費 予算額 1,746,514千円
[学校経理・施設課 (224-2955)]

県立高等学校について、施設の安全性を維持するため、県立学校施設の長寿命化計画(令和元年度策定予定)に基づき、トイレの洋式化など設備面での機能の向上も含め、計画的に老朽化対策に取り組みます。また、猛暑から子どもたちの命を守るため、空調設備が未整備の普通教室について、空調設備整備工事に取り組みます。

(5) 地域との協働と信頼される学校づくり

① 地域と学校の連携・協働体制構築事業 予算額 7,862千円
[小中学校教育課(224-2963)]

「地域とともにある学校づくり」を進めるため、住民等が学校運営や教育活動に参加・協働し一体となって子どもを育むコミュニティ・スクールや、これまでの学校支援地域本部の活動を基盤とした地域学校協働活動の取組を支援します。

② 教職員研修事業(一部再掲) 予算額 29,889千円
[研修推進課(226-3572)]

教職員の資質および実践的指導力の向上をめざし、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」等をふまえて定めた「令和2年度三重県教員研修計画」に基づき、ライフステージおよび多様な教育課題に対応した研修を計画的に実施します。

③ (一部新) 学校における働き方改革推進事業 予算額 60,118千円
※スマート自治体推進事業(一部) [教職員課(224-2959)]

教職員の負担軽減を図り、限られた時間の中で子どもたちと向き合う時間を確保し、より効果的な教育活動を持続的に行うため、教職員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフの小中学校への配置を拡充するとともに、新たに県立学校に配置します。また、教職員が効果的・効率的に授業の準備ができるよう、ICTを活用したクラウド上での教材の共有化に関する検討を進めます。

④ 地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業（再掲） 予算額 24,222 千円
[教育政策課(224-2951)]

実践パイロット校を指定し、生徒が地域課題や地域の特色ある産業を題材に地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことで、地域の魅力と課題を知り、解決方策を考え実践する人材を育成します。また、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置します。これら実践パイロット校での取組をふまえ、学識経験者や地域関係者等で構成する推進委員会を設置し、他者と協働する力や自己と社会の関わりを考える力など、これからの社会の変化に対応するために必要な力を育成する「地域課題解決型キャリア教育」のモデルを構築します。

⑤ 教育改革推進事業 予算額 7,221 千円
[教育政策課(224-2951)]

次期「三重県教育ビジョン（仮称）」の周知を図るとともに、教育改革推進会議や、伊勢志摩地域・伊賀地域・紀南地域等に設置した地域協議会を開催し、高等学校の活性化および今後のあり方を検討します。

⑥ 社会教育推進体制整備事業 予算額 1,524 千円
[社会教育・文化財保護課(224-3322)]

社会教育の振興を図るため、市町における社会教育委員や社会教育担当職員等を対象に研修や情報交換を行います。また、地域課題の解決に資する学習機会を提供するとともに、地域におけるコーディネート機能を高めることで社会教育の活性化を図ります。

⑦ 世界遺産熊野参詣道保存管理費 予算額 480 千円
[社会教育・文化財保護課(224-3328)]

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保存と活用のため、文化庁や奈良・和歌山県および関係市町と連携した取組を行います。また、新たな文化資産の情報収集を行うとともに、地元の関係団体や市町担当者に対する専門的な知識と技術に関する講習会や、広く県民を対象とした講演会等を開催します。

⑧ 地域文化財総合活性化事業 予算額 90,000 千円
[社会教育・文化財保護課(224-2999)]

国・県指定等文化財の所有者等が行う修復等の保存事業について、技術的な助言と必要な経費に対する支援を行うとともに、所有者等による公開・活用等への取組を促進します。

「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の育成

子どもたちの知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育むため、一人ひとりの学習内容の理解と定着を図る取組を推進します。また、「豊かな心」を育むため、道德教育の推進体制の充実を図り、子どもたちの道德性を養うとともに、子どもたちが読書経験や本の楽しさを伝え合う取組等とおして、読書習慣の定着を図ります。さらに、「健やかな身体」を育むため、遊びやスポーツの機会の拡充をおして、運動に親しむ習慣の定着と体力の向上に取り組みます。あわせて、外国人児童生徒が社会的に自立する力を身につけられるよう、日本語指導や進路選択等の支援を行います。

「確かな学力」の育成

(一部新)学力向上推進事業 【予算額:31,377千円】

全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシート等の年間をとおした計画的な活用など、PDCAサイクルによる早期からの授業改善等により、子ども一人ひとりの「確かな学力」を育み、学習意欲を向上



少人数教育推進事業 【予算額:1,349,046千円】

- ・小学校1年生の30人学級(下限25人)(定数25人)
- ・小学校2年生の30人学級(下限25人)と36人以上学級の解消(定数80人)
- ・中学校1年生の35人学級(下限25人)(定数55人、非常勤30人)
- ・*実情に応じて2,3年生への振替可
- ・習熟度別指導やチーム・ティーチングなどの少人数指導のための教員配置(定数44人、非常勤195人)
- ・これまでの少人数指導の取組をふまえ、効果的な少人数教育を推進

「豊かな心」の育成

道德教育総合支援事業 【予算額:9,598千円】

学校へ道德教育アドバイザーを派遣するなど、「考え、議論する道德」の指導方法等の指導、助言

子どもと本をつなぐ環境整備推進事業 【予算額:758千円】

- ・「第四次三重県子ども読書活動推進計画(仮称)」に基づいた読書活動の推進
- ・ビブリオバトルの開催

「健やかな身体」の育成

みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業 【予算額:5,928千円】

- ・元気アップ研修会等による体育授業の充実
- ・武道等指導充実・資質向上支援事業による武道等授業の充実
- ・オリンピック・パラリンピアンによる講演、模範演技

みえ子どもの元気アップ部活動充実事業 【予算額:26,953千円】

運動部活動指導員の配置(中学校38名、高等学校5名)
運動部活動サポーターの派遣(中学校5名、高等学校45名)

運動部活動支援事業 【予算額:153,808千円】

全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会(松阪市で開催)、全国中学校体育大会三重大会への経費補助

外国人児童生徒教育の推進

(一部新)多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業 【予算額:29,634千円】

- ・小中学校に翻訳等を行う外国人児童生徒巡回支援員3名を新たに派遣
- ・夜間中学等に関する調査研究

社会的自立をめざす外国人生徒支援事業 【予算額:11,117千円】

日本語指導が必要な外国人生徒を支援するため、県立高校拠点校における外国人生徒支援専門員の配置拡充(3名増員)

外国人生徒キャリアサポート事業 (未来へつなぐキャリア教育推進事業の一部) 【予算額:4,824千円】

- ・就職アドバイザーの配置
- ・国内での就職等に係るセミナーの実施

特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業 (早期からの一貫した教育支援体制整備事業の一部) 【予算額:2,679千円】

翻訳・通訳を行う外国人児童生徒支援員を配置

SNSを活用した相談事業(外国人生徒対応分) (教育相談事業の一部) 【予算額:3,858千円】

外国人生徒が母国語で相談できるSNS相談を実施 ※「子どもSNS相談みえ」(11,799千円)の一部

幼児教育の推進

(一部新)就学前教育の質向上事業 【予算額:4,258千円】

- ・幼児教育センターの設置
- ・センターに幼児教育スーパーバイザーを配置するとともに、幼児教育アドバイザーを市町へ派遣



自分のよさや可能性を認識し、夢と志を持って可能性へ挑戦!

未来を創造する力の育成

【予算額 合計 2,409,385千円】※R元年度2月補正含みベース

高校教育課(224-3002)、小中学校教育課(224-2963)、教育政策課(224-2951)

変化が激しく予測困難な社会にあっても、子どもたちが社会の一員として自覚と責任を持ち、主体的に行動できる力を育みます。英語教育や郷土教育を推進し、世界や地域で活躍できるグローバル人材の育成や、地域や企業と連携したキャリア教育を推進するとともに、ICT環境の整備などに取り組み、超スマート社会(Society5.0)に対応できる力を育みます。

キャリア教育の充実

地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業

【予算額 24,222千円】

- 実践パイロット校を指定し、高校生が地域の課題や産業等を題材にした新しいキャリア教育モデルを展開
- 地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことをとおし、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働する力や、自己と社会の関わりを深く考える力など、これからの社会の変化に対応する力を育成
- 学校と地域をつなぐコーディネーターを配置
- 地域関係者、有識者等で構成する推進委員会を設置し、実践パイロット校の成果や課題を検証、改善



知識を活用して新たな価値を創りだす力の育成

(新)学びのSTEAM化推進事業

【予算額 4,410千円】

- STEAM教育(文理融合の課題解決型学習)
- Edtech (Education + Technology)の活用による個別最適型学習
- 三重STEAM教育フォーラム(仮称)を開催

Society5.0の時代を生き抜く人材を育成

<STEAM教育>

Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics等の学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

グローバル教育の推進

世界へはばたく高校生育成支援事業

【予算額 18,601千円】

- レベル別英語ディベートセミナーの実施
- 高校生の留学支援
- 海外研修旅行の実施
- 三重県高等学校科学オリンピック大会の開催



(一部新)英語教育推進事業

【予算額 2,391千円】

- 中学校のモデル地域を指定し、多様な音声や教材が利用できる英語教材作成支援システムを導入
- モデル校を指定した小学校英語の効果的な指導方法等の実践研究
- 郷土の魅力を英語で発信するワン・ペーパー・コンテストの開催

(一部新)課題解決型学習(PBL)を通じた

新しい郷土教育推進事業 【予算額 397千円】

中学生が地域に関わる課題について解決策を考え、提案する取組を支援し、その成果を他市町の生徒と交流

主体的に社会を形成する力の育成

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究事業 (高等学校学力向上推進事業の一部)

【予算額 1,000千円】

主権者として社会参画意識を醸成するため、実践研究校を指定し、出前授業や効果的な学習プログラムを開発

未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部再掲)

【予算額 22,091千円】

- 地域で活躍する職業人による出前授業
- 地域の事業所と連携した課題解決型インターンシップ
- 外部人材を活用した就職支援・職場定着支援
- 外国人生徒へのキャリアサポート (就職アドバイザーの配置、国内での就職等にかかるセミナーの実施)

「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業

【予算額 27,221千円】

- 先進的で卓越した取組に挑戦する学校への支援
- すべての県立農業高等学校(5校)でGAP教育を推進
- 伊賀白鳳高等学校建築デザイン科における実習設備の整備

専攻科整備事業

【予算額 40,079千円】

四日市工業高校ものづくり創造専攻科における実習設備の整備



特別支援教育の推進

【予算額 合計 65,165千円】

特別支援教育課（224-2961）、研修推進課（226-3572）

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの学びを支えるため、「パーソナルファイル」を活用した支援情報の確実な引き継ぎを進めます。また、子どもたちが地域で豊かに自分らしい生活ができるよう、発達段階に応じた組織的なキャリア教育を進めるとともに、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流活動を進めます。

特別支援教育の推進

◇早期からの一貫した教育支援体制整備事業（一部再掲）【予算額 23,573千円】 ◇特別支援学校メディカル・サポート事業【予算額 5,690千円】

○早期からの一貫した教育支援体制を整備

- ・「パーソナルファイル」の活用促進
- ・発達障がい支援員3名による高等学校への巡回相談
- ・支援情報の円滑な引継ぎ
- ・通級指導担当教員等の専門性の向上
- ・特別支援学校のセンター的機能による支援
- ・市町教育委員会と連携した就学支援
- ・高等学校段階における入院生徒に対する学習保障の仕組みの研究
- ・特別支援学校に在籍する外国人児童生徒等への支援（翻訳・通訳を行う外国人児童生徒支援員を配置）
- ・高等学校における通級指導の充実と拡充
- ・交流及び共同学習の充実



○医療的ケアを安全に実施するための体制を整備

- ・実施校：特別支援学校9校
- ・常勤講師（看護師免許有）および教員が連携した医療的ケアの実施
- ・医療的ケアに係る知識・技能を習得するための基本研修および実地研修の実施
- ・指導医等による巡回相談および指導

◇特別支援教育に係る教職員研修

（教職員研修事業の一部）【予算額 180千円】

○特別支援教育に係る教職員の専門性の向上

- ・経験年数や職種に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修の実施
- ・特別支援学級等の新担当教員が特別支援学級経営や障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修の実施

◇（新）特別支援学校学習環境等基盤整備事業【予算額 29,115千円】

○特別支援学校ICT端末の整備

- ・特別支援学校に在籍する小・中学部の児童生徒が使用する学習用パソコン等の端末を整備

進路希望の実現

◇特別支援学校就労推進事業【予算額 6,607千円】

○外部人材を活用した支援を実施

- ・生徒の適性を把握し、適した職種・業務と支援方法を企業に提案する形の職場開拓（キャリア教育サポーター4名を配置）

○特別支援学校版キャリア教育プログラムに基づく取組の推進

- ・職業適性アセスメントの活用を促進
- ・技能講習、技能検定を実施（清掃、看護・介助補助業務）

安全で安心な学びの場づくり

【予算額 合計 2,075,338千円】

生徒指導課(224-2332)、研修企画・支援課(226-3516)、教育総務課(224-3301)、学校経理・施設課(224-2955)

「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめがなくなることをめざして社会総がかりで取り組むとともに、学校や家庭、地域、関係機関が連携して、不登校の状況にある子どもたちへの支援や通学路等の安全確保、インターネットトラブルの防止に取り組みます。また、トイレの洋式化など設備面での機能向上も含めた県立学校における施設の計画的な老朽化対策に取り組むとともに、災害時の学校を支援する体制の整備や防災教育を進め、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを進めます。

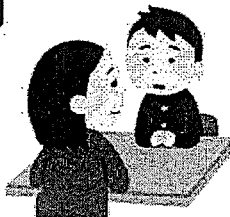
いじめや暴力のない学校づくり

いじめ対策推進事業 【予算額 5,910千円】

- 専門家との連携による支援
 - ・臨床心理士が、いじめを受けて苦しんでいる児童生徒への直接的な支援や、いじめにより欠席した児童生徒に対する家庭訪問等の実施
 - ・社会福祉士や精神保健福祉士が、いじめの被害・加害児童生徒を取り巻く環境といじめの関係性を検証した上で、関係機関と連携した支援
 - ・弁護士によるいじめ予防授業や、学校だけでは解決が困難な事案への支援
- 主体的な活動の推進
 - ・地区別いじめ防止サミットを開催し、児童生徒と保護者、教職員、三重県いじめ防止応援サポーター等が意見交換を行い、いじめの防止に向けた主体的な活動を推進

スクールカウンセラー等活用事業 【予算額 279,103千円】

- ・スクールカウンセラー（臨床心理士等）を配置
スクールカウンセラーの配置校
小中学校 153 全中学校区
高等学校 56校
- ・スクールソーシャルワーカー（社会福祉士等）13名を配置
社会福祉等の専門的な知識・技術による支援
福祉機関等の関係機関とのネットワークを活用



SNSを活用した相談事業(いじめ等対応分)

(教育相談事業の一部) 【予算額 7,941千円】

- ・いじめ等の早期発見、早期対応を図るためのSNS相談を実施
※「子どもSNS相談みえ」(11,799千円)の一部

不登校児童生徒への支援

(一部新)不登校対策事業 【予算額 7,239千円】

- ・不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた学習支援等に係る支援方法の研究
- ・不登校支援アドバイザーを委嘱し、教育支援センターの指導員等に対する指導・助言
- ・臨床心理士や精神保健福祉士等の専門家による訪問型支援の実施
- ・民間施設(フリースクール等)と連携し、不登校児童生徒一人ひとりに応じた多様な学びを支援

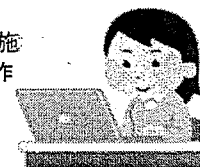
子どもたちの安全・安心の確保

(新)子どもたちのインターネットトラブル防止事業

※県民参加型予算事業

【予算額 10,000千円】

- ・SNSにおけるトラブル等に係る情報を投稿できるアプリの作成
大学生がSNSパトロールを実施し、問題が疑われる案件を発見した場合、このアプリを利用し、県教育委員会へ連絡
- ・県内大学生による「インターネットの適正利用促進講座」の実施
- ・大学生と高校生がネット利用における経験をもとにした意見交換会を実施
その結果やネットトラブルに関する相談窓口等を記載したリーフレットを作成し、子どもたちや保護者に発信



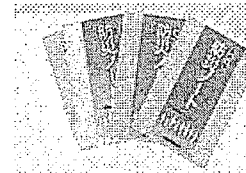
(一部新)学校安全推進事業 【予算額 3,035千円】

スクールガード・リーダーを核とした、地域ぐるみの学校安全体制づくりの推進

防災教育・防災対策の推進

学校防災推進事業 【予算額 13,332千円】

- ・防災ノートを活用した学習 ・体験型防災学習等の支援
- ・東日本大震災の被災地での中高生のボランティア活動や交流学習
- ・学校防災リーダー等教職員研修の実施



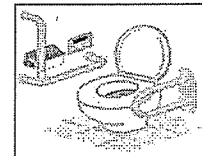
(一部新)災害時学校支援事業 【予算額 2,264千円】

- ・災害時の学校運営に関する専門的知識や実践的な対応能力を備える教職員を育成(令和2年度:40名育成予定)



校舎その他建築費 【予算額 1,746,514千円】

- ・県立学校施設の長寿命化計画に基づく長寿命化改修を実施
※トイレ洋式化改修工事は2校で実施予定(設計は10校)
- ・空調設備が未整備の普通教室の空調設備整備工事を実施(9校)



地域との協働と信頼される学校づくり

【予算額 合計 221,316千円】
 小中学校教育課(224-2963) 教職員課(224-2959) 研修推進課(226-3572) 教育政策課(224-2951) 社会教育・文化財保護課(224-3322)

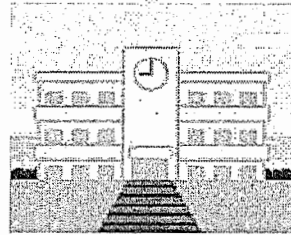
学校・家庭・地域が一体となった教育活動を進めるため、コミュニティ・スクールの仕組みを導入する市町や学校の拡充に取り組むとともに、県立高校の特色化・魅力化を進めます。また、教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施するとともに、働き方改革を推進し効果的な教育活動ができるよう、専門スタッフや外部人材等の配置を進めます。

さらに、地域の中で子どもたちを健やかに育む環境づくりを進めるとともに、文化財を将来にわたって守り伝えるための取組を推進します。

◇地域とともにある学校づくり

地域と学校の連携・協働体制構築事業 【予算額 7,862千円】

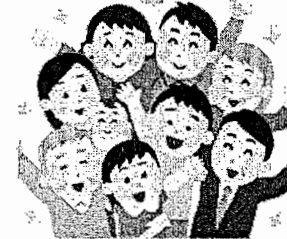
- ・「地域未来塾」などの学習支援をはじめとする地域学校協働活動に係る経費の補助
- ・学校と地域住民等をつなぐコーディネーターの育成のための研修会の実施
- ・地域とともにある学校づくりサポーターを市町や学校に派遣し、コミュニティ・スクールの拡充や地域学校協働活動の充実を図るための指導・助言の実施



◇社会教育の推進と地域の教育力の向上

社会教育推進体制整備事業 【予算額 1,524千円】

- ・市町教育関係者を対象とした研修会等を実施
- ・公民館等の社会教育施設において、地域課題の解決に資する学習機会を提供するとともに、地域におけるコーディネート機能を向上



◇教職員の資質向上と学校における働き方改革の推進

教職員研修事業(一部再掲) 【予算額 29,889千円】

「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」等をふまえ、ライフステージおよび多様な教育課題に対応した研修を計画的に実施

(一部新)学校における働き方改革推進事業

【予算額 60,118千円】

教員の業務を支援するためスクール・サポート・スタッフを配置
 小中学校等100名(85名増員) 県立学校7名(新規)

<<専門的な知識や経験を有する外部人材の活用(令和2年度)>>(再掲)

スクールカウンセラー
 小中学校 全15中学校区
 高等学校 56校

スクールソーシャル
 ワーカー
 13名

部活動指導員(中学校)
 50名配置
 ※うち、新たに文化部
 にも12名を配置

◇学校の特色化・魅力化

地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業(再掲)

【予算額 24,222千円】

- ・実践パイロット校を指定し、高校生が地域の課題や産業等を題材にした新しいキャリア教育モデルを展開
- ・地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことをとおし、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働する力や、自己と社会の関わりを深く考える力など、これからの社会の変化に対応する力を育成

教育改革推進事業 【予算額 7,221千円】

教育改革推進会議等を開催し、高等学校の活性化および今後のあり方を検討

◇文化財の保存・継承・活用

世界遺産熊野参詣道保存管理費

【予算額 480千円】

- ・近隣県と連携した取組の実施
- ・新たな文化資産の情報収集を中心とする基礎的な調査
- ・講演会等の実施

地域文化財総合活性化事業

【予算額 90,000千円】

国・県指定等文化財の所有者等が行う修復等の保存事業を支援



3 その他の主要事業

政策名、施策名及び事業の内容

《政策名：人権の尊重とダイバーシティ社会の推進》

《施策名：(211) 人権が尊重される社会づくり》

- 1 人権感覚あふれる学校づくり事業 540千円【(21102) 人権教育の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 6 人権教育費)
子ども一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」が教育活動全体を通じて進められるよう、個別的な人権問題を解決するための学習、人権が尊重される授業づくり、人権尊重の地域づくり等について実践研究を行い、その成果を報告書や研修会等で、全ての県立学校に広めていきます。
- 2 子ども支援ネットワーク・アクション事業 2,477千円【(21102) 人権教育の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 6 人権教育費)
教育的に不利な環境のもとにある子どもの自尊感情を高め、「人権尊重の地域づくり」が促進されるよう、中学校区の「子ども支援ネットワーク」の活動を推進します。
- 3 人権教育研究推進事業 3,340千円【(21102) 人権教育の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 6 人権教育費)
指定小中学校および指定中学校区において、三重県人権教育基本方針に即した「人権感覚あふれる学校づくり」の効果的な取組についての研究や人権教育カリキュラムに関する研究を行い、その普及をとおして、県内の人権教育を推進します。
- 4 人権教育研修事業 1,120千円【(21102) 人権教育の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 6 人権教育費)
全ての学校で人権教育を推進するため、小中学校、県立学校の管理職等を対象とした研修を実施します。また、県立学校において、学校や地域で人権教育推進のリーダーとなって実践できる人材を養成します。

《政策名：学びの充実》

〈施策名：(221) 子どもの未来の礎となる「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の育成〉

- 1 みえの学力向上県民運動推進事業 234千円【(22101) 学力の育成】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 2事務局費)
学力の基盤となる子どもたちの生活習慣・学習習慣・読書習慣を確立するため、学校・家庭・地域がともに考える機会として教育講演会を開催します。あわせて、県内イベント等を活用して県民運動の周知・啓発を図るとともに、学校・家庭・地域における今後の取組等を検討するため、みえの学力向上県民運動推進会議を開催します。
- 2 (新) 新学習指導要領に対応した資質・能力育成推進事業 577千円【(22101) 学力の育成】
＜事業実施期間：令和2年度～令和4年度＞
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)
全ての教科の基盤である読む力や伝える力の確実な習得につなげるため、指導資料「育成カリキュラム(読む力・伝える力編)」の活用を促進するとともに、それらの力を育成するための授業改善について、国の調査官等を招へいした研修会を開催します。また、「空間認識」「平面図形」「数的処理」等の数学的思考力を育成するWEB学習教材を活用した実践研究を行い、その成果等をふまえて、民間企業と連携し、教材の研究・開発を行います。
- 3 小中学校指導運営費 3,602千円【(22101) 学力の育成】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)
本庁と教育支援事務所が連携し、市町教育委員会および小中学校を訪問して、地域の実情に即した学力向上の取組を支援します。
- 4 学校保健総合支援事業 1,934千円【(22103) 体力の向上と健康教育の推進】
(第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費)
子どもたちが健康に関する正しい知識を身につけ、理解を深めることができるよう、専門医等を学校に派遣するなど、学校における健康教育の充実を図ります。
- 5 がんの教育総合推進事業 421千円【(22103) 体力の向上と健康教育の推進】
(第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費)
教職員が、がんに関する教育の意義を理解し、指導内容・方法等についての専門的な知識を習得できるよう、研修会等をとおして資質向上を図ります。
- 6 学校給食・食育推進事業 1,773千円【(22103) 体力の向上と健康教育の推進】
(第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費)
朝食メニューコンクールの実施等を通じて食育を推進するとともに、学校給食の衛生管理等の徹底を図ります。

7 高校芸術文化祭費 4,162千円【(22104) 読書活動・文化芸術活動の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)

音楽、美術、演劇など高校生の芸術文化の技術と創造力を磨き、芸術文化活動の活性化を図るとともに、生徒相互の交流を深め、豊かな人間性を育成するため、みえ高文祭の開催や全国高等学校総合文化祭等への生徒派遣を支援します。

〈施策名：(222) 個性を生かし他者と協働して未来を創造する力の育成〉

1 高等学校学力向上推進事業（一部再掲） 16,496千円

【(22201) 主体的に社会を形成する力の育成】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)

生徒の学力の定着・向上および自己実現を図るため、県立高等学校に対して指導・助言等の支援を行うとともに、指導方法や評価方法の工夫改善に係る研究実践を推進します。また、新学習指導要領の円滑な実施に向けて、教務担当者等を集めた会議を開催し、教育課程の編成や指導方法等に関する研究協議を行います。さらに、主権者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする意欲や態度を育むため、実践研究校を指定し、外部機関の協力を得て、効果的な学習プログラムを開発します。

〈施策名：(223) 特別支援教育の推進〉

1 特別支援学校スクールバス等運行委託事業 314,540千円

【(22302) 自立と社会参画に向けた教育の推進】

(第10款 教育費 第5項 特別支援学校費 1特別支援学校費)

特別支援学校に在籍する子どもたちの通学に係る負担を軽減するため、スクールバスを運行します。

〈施策名：(224) 安全で安心な学びの場づくり〉

1 (一部新) 財産管理事務費 281,876千円【(22402) 子どもたちの安全・安心の確保】

(第10款 教育費 第4項 高等学校費 2高等学校管理費)

県立学校の施設・設備の適切な維持管理を図るため、電気設備や浄化槽等の保守点検を実施するとともに、休日や夜間に機械警備を行います。また、全ての県立学校における空調設備の点検等に必要な費用を負担します。

〈施策名：(225) 地域との協働と信頼される学校づくり〉

- 1 (一部新) 教育相談事業 (一部再掲) 58,997千円【(22503) 教職員の資質向上】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 5 総合教育センター費)

子どもたちの心の問題の解決に向けた専門的教育相談を実施するとともに、学校の教育相談体制を支援するため、臨床心理相談専門員を学校等に派遣します。また、教職員の教育相談に係る力量の向上と、校内の教育相談体制づくりを推進する中核的リーダーの育成をめざした教育相談研修を実施します。さらに、いじめ電話相談、「子どもSNS相談みえ」を引き続き実施するとともに、外国人生徒が母国語で相談できるSNS相談を実施し、その対応について検証を行います。

- 2 県立学校教職員健康管理対策費 61,209千円【(22503) 教職員の資質向上】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 8 教職員厚生費)

県立学校教職員の生活習慣病等を早期発見・早期治療するため、定期健康診断を実施し検査結果を適正に管理するほか、生活習慣病予防として健康診断事後指導を実施します。

また、時間外労働等のデータを管理する「過重労働対策報告システム」を活用し、産業医の指導・面接をとおして過重労働による健康障害の予防を図ります。

- 3 教職員メンタルヘルス対策費 2,422千円【(22503) 教職員の資質向上】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 8 教職員厚生費)

教職員の精神神経系疾患を予防するため、心の健康について正しく認識し、自らが早期に気づき、適切に対処できるよう研修や啓発を行うとともに、臨床心理士によるカウンセリングを実施します。また、教職員が早期に病氣回復と職場復帰を果たせるよう、精神科医による管理職とのケースカンファレンスを実施します。

〈施策名：(227) 文化と生涯学習の振興〉

- 1 文化財保存管理事業 6,909千円【(22702) 文化財の保存・活用・継承】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6 文化財保護費)

県内の貴重な文化財を調査し、文化財保護審議会の審議を通じて、指定等の適切な保存措置を講じるとともに、文化財保存活用大綱を策定し、県としての総合的な方向性を示します。また、国・県指定等文化財の情報発信を行うとともに、適切に保存されるよう巡視を行います。

- 2 世界に誇る三重の文化財記録事業 419千円【(22702) 文化財の保存・活用・継承】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6 文化財保護費)

これまでに作成した海女漁関連行事に係る記録映像のインターネット公開を行うなど、Webを活用した情報発信を進めるとともに、全国の「海女漁の技術」関係県との連携強化を進めます。

- 3 埋蔵文化財センター管理運営費 6,391千円【(22702)文化財の保存・活用・継承】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費)

埋蔵文化財の必要な発掘調査や適切な保存管理を行うとともに、県民への公開・普及を行います。また、子どもたちが郷土への愛着を持てるよう文化財を活用した出前授業等を行います。

- 4 受託発掘調査事業 554,000千円【(22702)文化財の保存・活用・継承】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費)

国等が実施する事業地内にある埋蔵文化財を適切に保護するための調整を行うとともに、必要となる発掘調査と記録作成を行います。

- 5 鈴鹿青少年センター費 62,659千円【(22704)社会教育の推進と地域の教育力の向上】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 1社会教育総務費)

心身ともに健全な青少年を育成するため、鈴鹿青少年センターを指定管理により運営し、施設利用者の増加や対象者の拡大および社会教育の普及・振興を図ります。また、令和(2019)年度の施設見直しに係る方向性に基づいた検討を進めます。

- 6 熊野少年自然の家費 79,675千円【(22704)社会教育の推進と地域の教育力の向上】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 1社会教育総務費)

自然の中で心身ともに健全な少年を育成するため、熊野少年自然の家を指定管理により運営し、施設利用者の増加および社会教育の普及・振興を図るとともに、効率的な管理運営を行います。また、老朽化した外壁の改修工事などを行います。

《政策名：希望がかなう少子化対策の推進》

(施策名：(233)子育て支援と幼児教育・保育の充実)

- 1 高等学校等進学支援事業 231,244千円【(23303)子どもの貧困対策の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)

高等学校・高等専門学校の生徒に対する修学奨学金の貸与等により、経済的な理由で修学が困難な生徒を支援します。

- 2 高校生等教育費負担軽減事業 3,830,565千円【(23303)子どもの貧困対策の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)

就学支援金や奨学給付金等を支給し、高等学校等における保護者等の教育費負担の軽減を図ります。

債務負担行為

(単位:千円)

事 項	期 間	限度額
高等学校等就学支援金	令和3年度	562,092
学び直し支援金	令和3年度	125
上野高等学校旧管理棟耐震改修工事に係る契約	令和3年度	312,000
県立学校における空調機器のリースに係る契約	令和3年度～ 令和16年度	488,692
県立学校における空調機器保守委託に係る契約	令和3年度～ 令和17年度	85,162
教職員人事管理システム保守委託に係る契約	令和3年度	3,419
教職員人事管理システム保守SEサポート業務委託に係る契約	令和3年度	1,898
教職員人事管理システム再構築業務委託に係る契約	令和3年度～ 令和4年度	377,300
県立学校における情報教育用パソコンのリースに係る契約	令和3年度～ 令和7年度	298,367

議案第72号

令和元年度三重県一般会計補正予算(第9号)

【教育委員会関係】

歳出補正予算

(単位:千円)

款	項	補正前の額	補正額	補正後の額
教育費	教育総務費	23,924,520	▲ 240,167	23,684,353
	小学校費	54,217,917	▲ 140,964	54,076,953
	中学校費	29,979,399	▲ 96,217	29,883,182
	高等学校費	35,942,714	▲ 146,290	35,796,424
	特別支援学校費	11,956,794	▲ 62,708	11,894,086
	社会教育費	523,326	▲ 105,206	418,120
	保健体育費	502,896	▲ 22,754	480,142
合 計		157,047,566	▲ 814,306	156,233,260

歳出補正予算の主な内訳

(単位:千円)

事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	内容
教育総務費				
教職員退職手当	14,952,218	▲ 252,031	14,700,187	退職手当の再算定による減額
高校生等教育費負担軽減事業費	3,896,672	▲ 59,598	3,837,074	高校生等奨学給付金等の実績見込の精査による減額
事務局人件費	2,413,423	93,947	2,507,370	人件費の再算定による増額
小学校費				
小学校人件費	52,334,032	▲ 94,334	52,239,698	人件費の再算定による減額
中学校費				
中学校人件費	28,898,031	▲ 59,386	28,838,645	人件費の再算定による減額
高等学校費				
校舎その他建築費	1,580,982	▲ 57,055	1,523,927	入札差金による委託料等の減額
高等学校人件費	28,308,402	▲ 54,843	28,253,559	人件費の再算定による減額
特別支援学校費				
特別支援学校人件費	10,080,090	▲ 24,605	10,055,485	人件費の再算定による減額
社会教育費				
受託発掘調査事業費	288,456	▲ 103,641	184,815	国および中日本高速道路(株)からの受託事業の減による減額
保健体育費				
運動部活動支援事業費	147,380	▲ 21,782	125,598	全国・ブロック体育大会等の実績見込の精査による負担金、旅費等の減額
県立学校児童生徒等健康管理事業費	61,206	3,186	64,392	新型コロナウイルス感染症予防のための手指の消毒液購入等による増額

繰越明許費

(単位:千円)

事業名	内容	金額	繰越理由
高等学校費 校舎その他建築費	四日市南高等学校雨水対策工事	5,050	工法の検討に不測の日数を要したため。
社会教育費 鈴鹿青少年センター費	高圧受電設備改修工事	5,263	工事日程の調整および機器の調達に不測の日数を要したため。
合 計		10,313	

I 議案補充説明

議案第 31 号

「三重県手数料条例の一部を改正する条例案」

(教育委員会関係)

1 改正理由

教育職員の免許に関する事務の円滑な維持運営を図るため、教育職員の普通免許状等の有効期間更新手数料等の額を改定する。

2 改正内容

次に掲げる教育職員の普通免許状等の有効期間更新手数料等の額を 3,000 円から 3,100 円に改める。

- | | |
|------------------------|------------|
| ①教育職員の普通免許状等の有効期間更新手数料 | (新免の更新・免除) |
| ②教育職員の普通免許状等の有効期間延長手数料 | (新免の延長) |
| ③免許状更新講習修了確認手数料 | (旧免の更新) |
| ④修了確認期限の延期手数料 | (旧免の延期) |
| ⑤免許状更新講習の受講免除手数料 | (旧免の免除) |

新免：平成 21 年 4 月 1 日以降（教員免許更新制導入後）に初めて免許状を授与された者

旧免：平成 21 年 3 月 31 日以前（教員免許更新制導入前）に授与された免許状を所持する者

修了確認期限：旧免が免許状更新講習の修了確認を受けなければならない期限

※③には修了確認期限を過ぎた後に更新するものを含む（現職の教員以外の者）

3 施行期日

令和 2 年 6 月 1 日

議案第52号

「三重県立高等学校条例の一部を改正する条例案」

1 改正理由

受益者負担の適正化を図るため、学業その他の証明書等の証明手数料の額を改定するものです。

2 改正内容

学業その他の証明書等の交付に係る証明手数料の額を250円から350円に改めます。

3 施行期日

令和2年4月1日

II 所管事項説明

1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく報告について

第1号様式(条例第5条関係)

予算に関する補助金等に係る資料

(部局名:教育委員会) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
1	全国・ブロック高等学校等体育大会派遣費補助金	三重県高等学校体育連盟 鈴鹿市稲生町 8232-1	59,961 (R2.4)	高等学校等の全国及びブロック体育大会へ生徒を派遣するために要する経費を補助する。	(目的・理由) 高等学校等の生徒を県外の体育大会へ派遣することにより、スポーツ水準の向上と運動部活動の活性化を図る。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	高等学校等の生徒を県外の体育大会へ派遣する経費を補助することにより、県内スポーツ水準の向上を図るものであり、公益性を有する。	保健体育課	教育費	保健体育費	体育振興費	運動部活動支援事業費
2	学校体育大会負担(補助)金	全国中学校体育大会三重県実行委員会 松阪市立野町 1344	37,400 (R2.4)	令和2年度全国中学校体育大会のうち三重県で開催される種目別大会に要する経費を負担する。	(目的・理由) 大会の開催を通じて、学校における体育・スポーツ活動を普及・振興することにより、生徒の心身の健全な発達を図る。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	全国中学校体育大会の開催に要する経費を通じて、学校における体育・スポーツ活動を普及・振興し、生徒の心身の健全な発達を図るものであり、公益性を有する。	同上	同上	同上	同上	同上

予算に関する補助金等に係る資料

(部局名:教育委員会) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
3	文化財保護事業補助金	公益財団法人諸戸財団 桑名市太一丸18	28,425 (R3.3)	文化財の所有者、管理団体、保護関係団体及び市町が実施する文化財の保存事業及び保存施設整備に要する経費の一部を負担する。	(目的) 指定文化財等の保存事業に対して財政的支援を行い、その適切な保存等を図る。 (理由) 事業者の負担を軽減することで、保存事業を行いやすくし、文化財等が適切に保存され、県民共有の財産として活用されることにつながる。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	文化財は、わが国の歴史、文化等を正しく理解し、将来の文化の向上発展に資する重要なものであり、その保存事業を支援することは公益性を有する。	社会教育・文化財保護課	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財管理費
4	同上	宗教法人春日神社 伊賀市川東613	21,790 (R3.3)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上